

# 自転車市民共同利用システム導入事業

## 施策のポイント

- 全国初の民間事業者による自転車シェアリングシステムの整備・運営
- 端末機の操作による自動・無人貸出、返却
- 24時間利用可能
- 多地点にあるステーションから、任意のステーションに自由に返却可能

## 自治体情報

富山県 富山市

人口 / 417,322人

標準財政規模 / 97,933,010千円

担当課 環境部環境政策課

電話番号 直通076-443-2053 代表076-431-6111 内線2617

実施主体 シクロシティ(株)

関連ホームページ <http://www.cyclocity.jp>  
<http://www.city.toyama.toyama.jp/division/kankyou/kankyouseisaku/cycle/cycle.html#entry>

事業期間 平成21年度

参考とした施策

関係施策分類 ④ ⑥<sub>ア</sub>

## 施策の概要

### 1 取組に至る背景・目的

本市では、公共交通の活性化と平行し、まちなか・公共交通沿線上に居住・商業・文化等の諸機能を集積させることにより、自動車に過度に依存しない「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」の実現と、それによる二酸化炭素排出量の大幅な削減を目指している。

このような背景の中、本事業では、中心市街地に自転車シェアリングを導入し、特定エリアの多地点にステーションを配置することで交通網としての利便性を高め、近距離の自動車利用の抑制及び公共交通の利用促進並びに二酸化炭素の排出量の削減、さらには中心市街地の活性化を図ることを目的としている。

### 2 取り組みの具体的内容

中心市街地の歩道上等の15ヶ所に、ステーション（自転車の貸出・返却拠点）等の設備や自転車を配置し、自転車シェアリングが可能なシステムを整備する。また、自転車等の機器の清掃やメンテナンスやステーション間の自転車台数調整作業等、設備設置後の事業運営を行う。

事業主体は民間事業者で、富山市の支援のもと設備の整備を行い、機器に追加した広告による収入により事業運営を行う。

### 3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

【効果】 中心市街地の活性化、二酸化炭素の排出量の削減、交通手段の転換

【数値目標】 自転車走行によるCO<sub>2</sub>削減量 146 t -CO<sub>2</sub>/年

### 4 現在までの実績・成果

運営を開始した3月20日から7月30日までの時点で703人が会員登録している。また、システムの延べ利用回数は16,899回となっており、1日の利用回数は126回となっている。

## 5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

ステーションの視認性の向上等の利便性の確保や防犯のため、ステーションの多くを歩道上に設置することとしたが、路上機器がある場所や歩行者空間が確保できない場所、電源が確保できない場所等があり、場所の選定に苦慮した。また、ステーションの設置に関し、関係機関（警察、道路管理者、電力会社など）との調整に日数を要した。

ステーション等の機器の形状やカラーリングについて、都市景観を損ねないように関係部署と協議を重ね十分に配慮した。

本事業の趣旨や利用手続き等のサービス内容に対する市民の理解を深めるため、市の広報や市長記者会見をPRに活用するとともに、サービス開始時には大々的にオープニングセレモニーを開催する等のPRを実施した。

## 6 今後の展開と課題

より多くの市民に利用されるサービスとなるように、今後も民間事業者と協力し、市内のイベントとタイアップするなど効果的なPR方法を検討し実施していくことが重要である。

また、利用者属性やステーション別の利用状況等の詳細な利用状況を調査・把握し、ステーションの移設や1日パスや法人パスの設定等のサービス内容の見直しも含め検討していく必要がある。



### 予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
150,000 千円		135,000 千円	0 千円	0 千円	0 千円	15,000 千円
①～④の名称、 所管など	名称	環境保全型地域づくり 推進支援事業補助金				
	所管	環境省				
	金額	135,000 千円				
	補助率	10/10				

提供可能資料：シクロシティパンフレット